



2021 年度 聖公会大学校韓国語学堂によるオンライン韓国語研修

本年 8 月 9 日から 20 日まで、韓国・ソウル市の聖公会大学校韓国語学堂が開催した夏期オンライン短期研修に、本学部学生 4 名（および他学部生 1 名）が参加した。内訳は、2 年次 1 名（地域文化学科）と 3 年次 3 名（地域文化学科 2 名、学校教育課程 1 名）であった。本研修プログラムは、立教大学・大阪産業大学・恵泉女学園大学などの学生が参加し、毎年夏に開催されているものであるが、コロナ禍のため本年度はオンラインで実施された。全体の参加者は 46 名であり、今年度はじめて台湾からの参加がそのうち 4 名あった。全体は 4 クラスに分かれたが、本学部生 4 名は、最上級クラスに 1 名、中上級クラスに 2 名、初級クラスに 1 名で、無事全員修了した。このような貴重な機会を与えてくださった秋田大学教育文化学部国際交流等学術研究交流基金の関係者の皆さんに、参加学生ともどもこの場を借りてお礼を申し上げます。以下、参加学生の感想を紹介したい。（地域文化学科 高村竜平）

教育実践コース 3 年次 奥山容子

今回の夏期韓国オンライン短期課程の授業について、語学を学習する環境として整っていたように感じた。普段、私は英語について学んでいるが、それらの授業がオールイングリッシュで行われているのと同じように、今回の授業もほとんど韓国語で進められていた。私は韓国語の勉強を始めたばかりで、土台が出来ていない状態で受講したが、それでも理解できるよう、易しい韓国語で教えていただいた。また、単語自体も日本語訳から学ぶのではなく、単語そのもののイメージを使って学ぶことが出来た。第一言語習得に近い状態で学べるように配慮していただいたのだと思う。他言語をその国の言語で学ぶという、外国語学習として良いかたちで 2 週間学習できたように感じる。

また、授業が韓国語で進められたということにも関連するが、韓国語を「聞く」、「話す」タイミングがとても多かった。自主学习だとしても書くこと、読むことに偏ってしまいがちである。しかし、今回は普段あまり機会のない「聞く」という活動を多く経験することが出来た。当初はいくつかの単語を聞き取って意味を推測するしかなかったが、後半は簡単な文として聞き取ることが出来るようになっていた。2 週間という短い期間ではあったが、毎日聞き続けることで耳が韓国語に慣れたのだと感じた。継続的に韓国語に触れる、という日本の授業ではなかなかできないことを経

験できて良かった。「話す」ということに関しても、先生方が発言の場を多く設けてくれたことで、簡単な韓国語でも話してみようという意識につながった。私は、他の言語でコミュニケーションをする際、考えすぎてしまってあまり話せなくなることが多いが、学んだフレーズを利用して発言する時間を作っていたので、自信を持って話すことが出来た。他言語でもどうにかして考えを伝えようという意識が出来たように思う。

コミュニケーションの時間については、私たち参加者 3, 4 人に対して、韓国の学生さん 1 人が一緒に 45 分程度会話をするというものだった。前半はその日習った文法を利用したかたちで行われた。学んだことをすぐに実践することで、知識

— 탈락

예쁘다 배고프다
 끄다 쓰다
 나쁘다 아프다
 바쁘다 ...

A/V

+ -아/어

A/V

-아요/어요

-아서/어서

-았어요/었어요

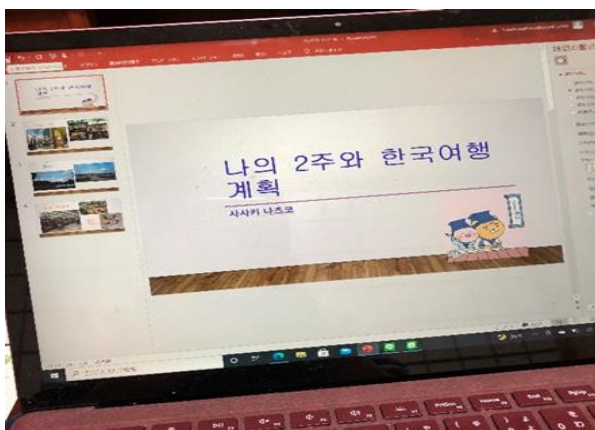
や能力の定着につながったように感じる。後半は自由にコミュニケーションがとれる時間だった。韓国語を聞いて話すという経験が出来たことはもちろん、韓国の日常や文化についても知ることの出来る時間となった。また、台湾の学生さんも参加していたため、台湾についても少し知ることが出来た。加えて、韓国の学生さん達はみんな日本に興味を持っている方たちだったので、日本の魅力についても改めて感じる事ができたように思う。この時間に関わりを持てた韓国の学生さんとは今も連絡を取り合っており、人とのつながりを持てたこともこの時間の大きな成果だったと感じる。

今回のこの短期課程を通して、韓国語を実践的なかたちで学ぶことが出来たのはもちろん、韓国語に対する意欲もより高めることが出来た。コロナによってオンラインでの参加にはなったが、オンラインだったからこそ、気軽に参加できたように思う。

国際文化コース3年次 佐々木捺子

私は2019年の夏にも聖公会大学の夏季研修に参加した。その時は実際に韓国を訪れて大学で授業を受けて、寄宿舎に泊まった。その時の経験が私にとってすごく良いものであったので、今回も参加した。前回行った時の担任の先生が今回も担任で、私のことを覚えていて、声をかけてくださったのが本当に嬉しかった。

授業は1コマ40分のもので一日に4コマあり、初めの3コマは先生が行う文法の授業で、最後の1コマは聖公会大学の学生とのコミュニケーションの時間だった。文法の授業は基本的には先生が送ってくださるテキストを使って行われた。平均すると2日に1つくらいのペースで新しい文法が



提出した課題「私の韓国二週間旅行計画」

取り上げられ、その時に出てきた新しい単語も一緒に覚えた。読んだり書いたりすることよりも、話したり聞いたりする活動が多かったのが日本の授業と違うと感じた。授業の前には必ず、昨日は何をしたのか、明日は何をするのか、最近流行っているものは何かといった基本的な内容を、先生が質問してくださり学生が答えるという時間があった。いきなり授業に入るよりも緊張が解け、韓国語の頭になるので良いと思った。

コミュニケーションの時間には、聖公会大学の学生1人と日本人学生3~5人程度がグループになってお話をした。話す内容はその日によって決められていて、学校生活、社会問題、就職活動、子供のころの話など様々だった。言いたいことはたくさんあるのに言葉が出てこず、オンラインなのでジェスチャーや雰囲気でも伝えることも出来ず、もどかしい思いをしたことも多々あった。しかし皆さん私のつたない韓国語でも理解してくれて、楽しかった。これをきっかけに非対面でのコミュニケーションにはより高度な語学スキルが必要なのだと気づき、さらに勉強を頑張ろうというやる気に繋がった。

テストは「私の2週間の韓国語学習」「コロナ後の韓国旅行計画」のうちから一つテーマを選び、韓国語で発表することと、上記のテーマで作文を書くことの二つだった。

2週間、毎日4時間ほど勉強をしたが、楽しくて本当にあつという間だった。コロナ禍で家で1人で勉強するのはモチベーションの維持が大変だ。しかし同じような志を持つ人たちと、自宅にしながら気軽に勉強できる点はオンライン留学の良さであると感じた。

国際文化コース3年次 篠山葉月

初日は入学式と会話のレベル確認テストが行われ、2日目からは確認テスト、事前に大学に提出した記述試験の結果をもとにレベル分けされたクラスで授業が開始された。授業は1コマ40分、20分の休憩を挟み、授業内容は、文法学習を中心に関連する単語、会話練習が行われた。また休憩時には授業中に出された課題に取り組み、完了した課題を写真に取り先生に送ると、すぐに先生が添削をしてくださった。毎回最後のコマは聖公会大学の学生とのコミュニケーションの時間が設けられた。

授業は毎回、先生が今日のお昼ご飯や週末の過ごし方などの簡単な質問を生徒一人ひとりすることから始まる。これによって、韓国語で話す機会が増えるだけでなく、緊張が解け授業に参加しやすくなった。また、学習した文法の会話練習では、3、4人のグループで行なわれるため、発言回数が多く、他の参加者との会話を楽しむことができた。先生はグループを巡回し、我々の韓国語の発音や正しい文法の使い方を指摘してくださった。

聖公会大学生とのコミュニケーションの時間では、その日のテーマに沿って話をするだけでなく、韓国ドラマやアイドル、好きな日本・韓国料理などの自分の好きな話もすることができた。

このように、会話練習が中心の授業や、参加者同士との自由な会話も楽しめる授業は、韓国語に慣れやすく、もっと話したいという意欲的な学習につながった。

大学入学から継続して学習してきた韓国語を、この研修では思う存分使えたことで、私は聞き取りは得意だが、単語力に問題があるなどと、自分の韓国語レベルが分かった。これは今後どの分野に力をいれて学習すれば良いのかを知る上で大事なことであるため、この研修を通して、多くのことを学ぶことができた。この研修での経験を自身のスキルアップに繋げたい。

| | | | |
|--------|-----|--------|-----|
| 1) 벗다 | 벗기다 | 2) 들다 | 들리다 |
| 3) 죽다 | 죽이다 | 4) 설다 | 설리다 |
| 5) 맞다 | 맞히다 | 6) 자다 | 재우다 |
| 7) 입다 | 입히다 | 8) 볼다 | 볼이다 |
| 9) 앓다 | 앓히다 | 10) 먹다 | 먹이다 |
| 11) 끓다 | 끓이다 | 12) 보다 | 보이다 |
| 13) 서다 | 서우다 | 14) 웃다 | 웃기다 |
| 15) 신다 | 신기다 | 16) 읽다 | 읽기다 |
| 17) 놀다 | 놀히다 | 18) 말다 | 말기다 |
| 19) 타다 | 태우다 | 20) 쓰다 | 쓰우다 |
| 21) 깨다 | 깨우다 | 22) 울다 | 울리다 |

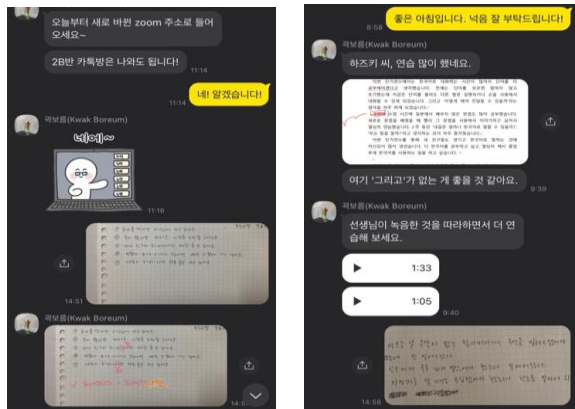
講義中に受講生が書き込んだ表

りして先生にメッセージで送るという進め方であった。

教材については、教科書やプリントに書き込む空欄は少なく、読むことがメインになっている点が日本の授業とは異なっている。特に良かった点は、文法ごとにグループでその文法を用いて実際に質問や会話を通して身につける点である。読み書きはできても、話すことができなければコミュニケーションは成り立たないということが分かった。この授業方法は、実際に声に出して話すことや、自分の分かる単語や言葉で相手が理解できるように説明する機会が多くあるため、このような機会は日本でも取り入れた方が良いのではないかなと思う。

コミュニケーションに時間では、韓国の学生 1 人に対して研修を受けている日本や台湾の学生 4 人ほどが 1 グループになり毎回 40 分ほどの時間があつた。韓国語だけで会話することは、単語が分かり聞き取ることができればさらにコミュニケーションが上手く成り立つと思うが、この時間では特に自分の分かる文法や単語で相手が理解できるように伝えるということがより大切だと感じた。すぐに検索出来てしまう便利な時代でも、話すことは自分の口で自分の言葉で発するものであるため、他の人の話を聞いて自分の中で考えて理解し、そこから自分について話すということは、母国語ではないからこそ難しく上手いかわからないことも多いが、外国語を学ぶ上で、実際に話すことは最も重要なことではないかと感じた。

2 週間の短期研修から、同じ言語を勉強する学生たちと一緒に話しながら勉強する時間は自分の韓国語の実力を確認する機会となり、これからも韓国語を学びながら力を伸ばしたいと思わせてくれた。本当に参加して良かったと思う。



SNS を使った課題の提出・添削のスクリーンショット

国際文化コース 2 年次 熊本柚月

オンラインでの授業を受けて、全員がカメラをオンの状態で、マイクもほぼオンにする点が、日本での授業とは大きく異なっていた。また、1 人ずつ当てていく場合もあれば、学生自ら手を挙げて答える場面が多く、話す機会が圧倒的に多いと感じた。授業時間は 1 時間ごとに 15 分ほど休憩をとり、その間に単語を調べたり、問題を解いた

心理実践コースでの学び

心理実践コース3年次 森 智基

心理実践コースは、多くの人々が公認心理師や臨床心理士の資格取得を目指して、専門的な知識の習得に加え、実験や実習、演習などを通して心理学の学習をしています。

1年生のうちから心理実習や研究の基礎的な学習など心理学の分野に触れる機会があり、2年生になると心理実践コースを選択することで、より専門的な知識、技能の学習に取り組むことができます。学年が上がるにつれ、心理面接の演習や個人・グループでの研究活動にも取り組んでいます。

1,2年次は特に心理学の基礎的な知識を学んだり、心理学実験を行ったりしています。その他にも様々な心理検査を実際に体験しながら学習し、心理実習で実際に小学校に行き心理検査を行ったり、児童との関りを通じた学習を行ったりしています。3年次からは、より実践的な面接練習や、様々な場所へ実習に行き学習をしていきます。

心理学と聞くと、カウンセリングなど臨床的なもののイメージが強いかもしれませんが、自分も大学入学まではそのような印象が強かったのですが、実際には、認知心理学や発達心理学、社会心理学、産業心理学など、心理学と言っても様々な領域があります。これらの様々な領域を広く学ぶことで、多くの視点から心を捉え、臨床場面で専門家として人と関わっていくことに役立てることが出来ます。そして、それが大学で心理学を学ぶことの特徴であると思います。

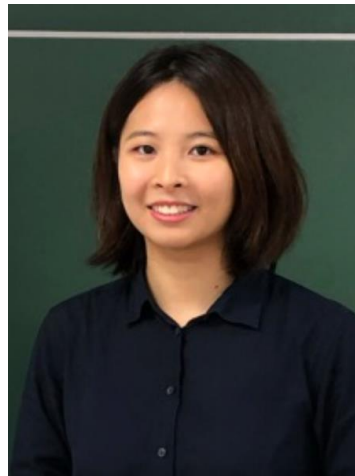
また、心理学の専門家としての職域も、医療や教育、司法、福祉、産業など様々な領域があります。そのため様々な心理学の領域の知識だけでなく、幅広い知識が必要となってきます。心理実践コースへのコース分けは2年次からのため、それまでは特に多くの学問に触れる機会があります。

心理学が最初のイメージと違うと思った場合でも、様々な心理学の領域や、その他の学問を学んでいき、そこから興味のあるものを見つけていくことで、新しい見方を持って大学での学びができると思います。



心理実践コース3年次 アマнда レン リナ

1年次では基礎となる教養科目や学科全体に共通する専門基礎科目、外国語などを学びます。2年次から心理実践コースに分かれ、心理学についてより専門的な勉強をします。臨床心理学、社会心理学、発達心理学、生理心理学など幅広い分野



の心理学の内容を学びます。また、秋田大学の心理実践コースは「臨床心理士」と国家資格である「公認心理師」の資格に必要な科目を履修することができます。日本語による授業だけではなく、いくつかの分野では外国語文献演習の授業を履修し、外国語の文献をたくさん読む機会を得ることができます。心理学に関する様々な基礎実験も行います。私は統計がとても苦手ですが、先生や大学院生がとてもわかりやすく教えてくださるので助かっています。さらに、カウンセリングの際に利用する面接技術や方法、注意点についても学ぶことができます。

集中講義で他の大学の教授の貴重な授業を受けることもできます。心理実習もあり、1年次から毎年1回(在学中に3回)小学校に訪問し、児童の学内外における生活を心理学的見地から実際に観察するとともに、知能検査、YG性格検査、AAI検査などの検査や調査を行います。それによって児童を総合的に理解するための知識と技能を習得します。1泊2日で宿泊を伴うので、そのこととても楽しい思い出になります。

本コースは他のコースと比べると人数も少ないので、学生は先生方に相談しやすいメリットがあると思います。卒論を書くのに向けて「心理学研究法演習」という授業で卒論のテーマをどのように探し、決め、書くのかなどについて学びます。その後、自分が興味あるテーマを考えそれを発表し、それぞれ専門の分野の教授の研究室が決まります。先生方はとても親しみやすいので、安心して学べる環境だと思います。私は秋田大学を選択して心から良かったと思っています。

【卒業生からのメッセージ④】

イギリス留学を通じて得たもの・目指すもの

齋藤沙夜花さんは、帯広畜産大学を卒業後、本教育学研究科に入学し、2015年3月に修了しました。その後、タイの日本人学校に教員として勤めた後に退職し、2019年9月～2020年9月の1年間、ロンドン大学大学院（University College London）の修士課程で教育社会学を学び、論文をまとめ、修士号を取得しました。そして、さらに、この9月から3年間、同じロンドン大学大学院の博士課程で学ぶ予定です。齋藤さんから後輩の皆さんが学べることは多いのではないのでしょうか。

齋藤さんが以下のHPに書いていることを、ご本人の了解を得て、抜粋して紹介します。

[Sayaさんの海外留学体験記\(留学先:イギリス\) | 留学大図鑑～先輩たちの留学体験談～ | トビタテ！留学 JAPAN \(mext.go.jp\)](#)

留学内容

私の研究テーマは「集団性と多様性に対する日本人中学校教師の信念と教育実践に関する研究」で、日本人の教師を対象に、日本の教育についての調査を行いました。本研究は、1年間の修士課程という短い研究期間であったことや、研究対象者が日本人の現職教員であったことが、研究を進める上で、大きな壁ではあったのですが、留学前から複数の計画を練って研究に取り組むことができたので、中身の深い研究が行えたと思います。指導教官の先生も、日本の教育現場の様子に大変興味を持ってくださり、指導のたびに充実した話し合いができ、博士課程進学への素地を築けた1年間でした。

留学の動機

私は日本で一つ目の修士号を取得したのですが、大学院在学当時は自分の知識の乏しさや、学校現場を経験したことのないことに落ち込んでいました。そのため、大学院修了後は教員として働いていたのですが、現場に出てみると、私一人の力では解決できない多くの課題が目に見えてきました。その中で諸外国の教育現場ではどのような状況なんだろう？という疑問がでてきたため、大学院留学を目指しました。

成果

大学院留学をするにあたり私の教員経験は私の強みとして生きてくれました。イギリスの大学院には、色々な国でさまざまな教育関連の現場で働いてきた経験を持っていらっしゃる方々が学びにきていたので、私の考えや経験は日本人を代表するような形で扱われることが多かったです。そんな時に、実際に自分の目で見て、考えてきたことを授業で伝えられるのは嬉しかったですし、議論ができた経験は私の大きな学びの成果です。

ついた力：批判的思考力

大学院の成績は基本的に最終課題とされる5000wordsのエッセイ一本でした。そのエッセイが授業の成績となるので、日々エッセイのことで頭

University College London 齋藤沙夜花

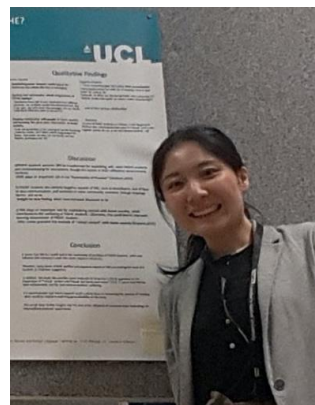
がいっぱいでした。なお、エッセイでは「critical thinking」と呼ばれる、物事を多面的に考え、批判的に思考する力が表れているものが高く評価されるので、それを身につけるために友人と何度も議論をしました。その結果、少しは意識できるようになった気がします。

今後の展望

イギリス大学院での1年間は今後私が海外でアカデミックの道に進めるかどうか自分を試す1年でもあったような気がします。人一倍本を読み、必死に文章を書き続けた日々を経験し、くたくたになった自分もいましたが、それ以上に、海外でのPhD取得に向けた素地を築けた1年でもありました。この先は、あと3年間UCLに戻り博士号の取得を目指し、いずれは異文化の魅力を学校の先生方に届けられる研究者になりたいと思っています。

イギリス（ロンドン）での生活

私はロンドンの中心部から少し離れたフラットで、日本人の大家さんと共同生活をしていました。なので、学生寮で色々な国の人たちと関わるような華やかな雰囲気留学ではなく、緑や猫ちゃんに囲まれた非常に落ち着いた日々を送っていました。その中で、近所のイギリス人の方々と仲良くなっていったり、現地に住む日本人会の方々と交流もあったりしました。また、日本人の大家さんが40年にも渡りイギリスに住み続けている心内を知ったりする中で、海外に住む日本人の気持ちといった、私の研究にも通じるような事柄を深く考える日々を送ることができたような気がします。現地での生活を通して、人々との出会いや、現地の人々の語りすべてが、私自身の今後の研



究に大きく関わってくる大切な学びでした。

留学前にやっておけばよかったこと

私はもう少し西洋哲学を学んでおくべきだったと思いました。イギリスの人文社会学系学部では、まずは理論に関する授業を受講することが多いです。その際に基盤となるのが、西洋哲学です。ヨーロッパの学生は、当然のように西洋哲学の理論を語り、議論をすることができるのに対し、その議論についていくのが精一杯な自分に不甲斐なく感じました。

これから留学へ行く人へのメッセージ

留学は大きな人生の一步だと思えます。きっと、留学を考え始めると悩むことも多く、踏みとどまりたくなる時もあるかもしれません。それでも、海外に興味があるのであれば、ぜひ人生で一度は留学を経験してほしいと思っています。せっかく、「やりたい」と思っている気持ちが芽生えている

んですから、その気持ちを大切にしてほしいです。きっと、その先には、今まで見たことも考えたこともない世界が広がっているはずですよ！



秋田大学教育文化学部天文台 9 月イベントの報告

教育文化学部総括技術長 成田堅悦

教育文化学部技術長 毛利春治

秋田大学教育文化学部天文台では、9月13日から15日の3日間、9月のイベント「天文サイエンスカフェと月・金星・木星・土星の観察」をオンラインで行いました。参加した市民はのべ12名で、岩手県や宮崎県からの参加もありました。天文台では、これまで大学施設の市民への開放と天文教育普及・市民の生涯学習支援・児童生徒の学習支援を目的に、天文台を会場に市民を対象にしたイベントを実施してきましたが、コロナ禍のため昨年からはWeb会議システムのZoomを使ってオンラインでイベントを実施しています。

イベントの日程は、月面が観察できる平日の連続する3日間を設定し曇天の場合は中止にしていますが、9月は雲が多めの日もありましたが幸い3日間とも実施できました。イベントの時間は、天体が見え始める時間から1時間半、9月は18時から19時半まで、月齢6.2から8.4の月面と金星、木星、土星を観察しました。天体の観察は、天文台にある45cm反射式天体望遠鏡ミルエルにビデオカメラを取り付けて、天体映像を天文台ホームページに表示させて行います。イベントでは天文台ホームページに表示された映像を解説する形式で行います。

月面の観察は、天体望遠鏡の方向を移動させながらクレーターや月の海などの特徴的な地形を、天文シミュレーションソフトのステラナビゲータ

ー（アストロアーツ社）で地名を確認しながら観察しました。月齢が違えば見える範囲が異なるので、3日間で異なる地形を観察しました。金星は見かけの大きさが変化し満ち欠けする惑星ですが、半分よりも少し膨らんだ状態の金星を観察できました。

木星は太陽系最大の惑星で、縞模様が3本から4本観察できました。木星の表面に衛星の影ができる非常に珍しい現象も観察できました。また、木星にはガリレオ衛星と呼ばれる明るい衛星が4個あり、3日間でそれぞれ配置が異なる様子も観察できました。土星には環がある特徴的な惑星で、環の内側が濃く、外側が薄い2重構造をしているのが観察できました。土星には明るい衛星が3個あり、ガリレオ衛星と同じように3日間で配置が変化する様子も観察できました。

対象以外の天体については、参加者から事前にもしくはイベント時間内にリクエストしてもらい観察することもできます。9月は、水星とM57こと座リング星雲、はくちょう座の二重星アルビレオ、M31アンドロメダ大銀河、それと天体ではありませんが、9月15日7時15分頃には、眼視にてISS国際宇宙ステーションの観察もできました。

一方、天文サイエンスカフェでは、市民からの天文についての話題提供や観察した天体の紹介、天体観察の中継などを行っています。市民からの

話題提供の申し込みが事前にあった場合はイベントの最初に行っていますが、9月は事前申し込みが無かったので、時間内で随時コメントを行っていただきました。

イベントで使用している Zoom のビデオ機能を使用して、市民が天体望遠鏡で観察している月や金星など天体のライブ中継を行っていただきました。また、Zoom の発言機能やチャット機能で、「金星みえていますよ。ビーナスですね」や「きれいな月ですね。きれいに撮れています」、「マクシー（貸出し望遠鏡）でタイタン（土星の衛星）見えました」など、観察している天体への感想やコメントがたくさんあり、市民同士がお互いにコミュニケーションをとりながら行いました。

現在、天文台ではスマートフォン対応の天体望遠鏡の貸出しも行っており、天体望遠鏡を持っていない市民が個人で天体観察を行ったり、天文サイエンスカフェで天体中継したり、撮影した天体写真の紹介ができたりするようにしています。イ

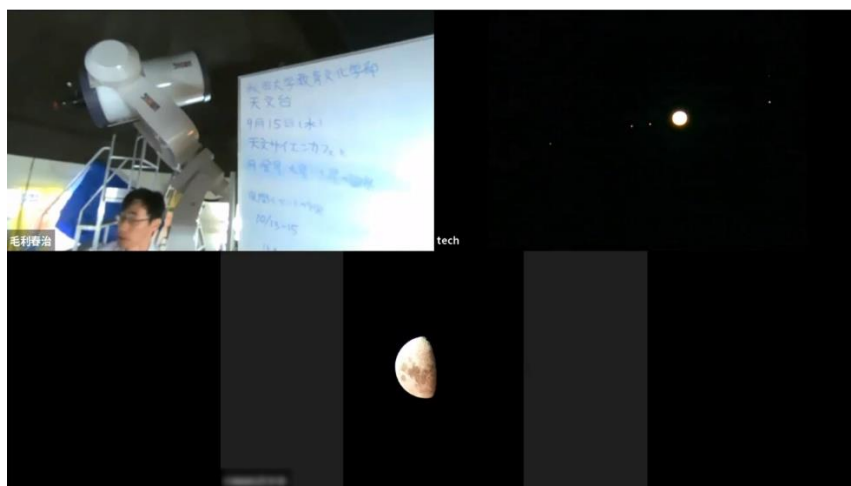
ベント終了後の投票では、参加者全員がイベントはとても楽しかったと回答がありました。

また、天文台では、今回紹介した夜間のイベントの他、天気の良い昼間には、金星の満ち欠けの様子を観察したり、ビデオカメラを太陽望遠鏡コロナドに接続して太陽面の黒点やプロミネンスを観察したりする臨時イベントも行っています。イベントの案内はメーリングリストと天文台と大学のホームページで行っていますので、ご興味ある方は是非、天文台へお問い合わせいただければと思います。

今後の天文台イベント予定：10月13日-15日、11月8日-10日、12月8日-10日

秋田大学教育文化学部天文台ホームページ
<http://www.gipc.akita-u.ac.jp/~narita/au-at/index.html>（担当：成田）

お問い合わせ：889-2655 mouri(アット)gipc.akita-u.ac.jp（担当：毛利）



Zoom ギャラリービューでの
イベントの様子

左上：天文台内映像

右上：木星と衛星の中継映像

下：市民の月面の中継映像

教育文化学部の学生のみなさんへ

8月24日付けで、みなさんへのお願いを出しましたが、引き続き、本大学、本学部の学生にも感染者が発生しています。従来に比べ、学生はもとより、園児、児童、生徒、そして家族の間での感染・発症が多くなっています。今一度、感染防止に一層努めるようにお願いします。

8月24日付けのお願いに加えて、マスクの付け方にも気をつけてください。不織布のものを使用し、顔に密着するように着けてください。

また、大学から自宅待機を要請された際には、食料の買い出しなど、やむを得ない場合に一日一回程度の外出は認められますが、それ以外は外出しないようにしてください。外出の際には感染防止対策をしっかりとって、会話は控え、他の人との接触をできるだけ避けてください。家族と同居している場合には、感染させる危険があることを意識してできるだけ距離を保ち、換気にも努めてください。

ワクチン接種も進んできていますが、ワクチンで感染を防ぎきれないわけではありませぬので、引き続き感染防止に努めるようにお願いします。

令和3年度9月14日
教育文化学部長 佐藤修司

新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み

*一部不明・不正確な箇所があります

【全国】

- 8/30：全国の新規感染者数が 14000 人を切り、13625 人となる。14000 人を切るのは 8/10 の 10570 人以来。最高は 8/20 の 25867 人。秋田県の累計感染者数が 1600 人を超えて 1605 人となる。
- 8/31：全国の重症者数が 2100 人を超え 2110 人となる。全国の死者数が 60 人を超え 65 人となる。60 人を超えるのは 6/16 の 80 人以来。
- 9/1：全国の死者数が 70 人を超え 71 人となる。
- 9/2：国内のワクチン接種の 1 回目を終了した人が累計 7000 万人を超える。
- 9/3：全国の重症者数が 2200 人を超え 2221 人となる。
- 9/5：東京パラリンピック閉幕。全国の新規感染者数が 13000 人を切り、12906 人となる。
- 9/6：全国の新規感染者数が 9000 人を切り、8227 人となる。9000 人を切るのは 8/2 の 8391 人以来。
- 9/7：秋田県の累計感染者数が 1700 人を超えて 1706 人となる。
- 9/8：全国の死者数が 80 人を超え 89 人となる。国内のワクチン接種の 2 回目を終了した人が累計 6000 万人を超える。
- 9/9：政府は、9/12 が期限となる 21 都道府県の緊急事態宣言について、東京や大阪など 19 都道府県で 9/30 まで延長し、宮城と岡山はまん延防止等重点措置への移行を決定。重点措置の 12 県のうち、富山、山梨、愛媛、高知、佐賀、長崎の 6 県は解除し、そのほかの地域は 9/30 まで延長。これにより、宣言の対象地域は 19 都道府県、重点措置の適用地域は 8 県。全国の重症者数が 2200 人を切って 2173 人となる。
- 9/11：全国の重症者数が 2100 人を切って 2057 人となる。
- 9/13：全国の重症者数が 2000 人を切って 1975 人となる。全国の新規感染者数が 5000 人を切り、4170 人となる。5000 人を切るのは 7/26 の 4689 人以来。
- 9/12：1 回目終了 7732 万人、2 回目終了 6229 万人

- 9/15：全国の重症者数が 1900 人を切って 1834 人となる。
- 9/16：全国の重症者数が 1800 人を切って 1743 人となる。秋田県の累計感染者数が 1800 人を超えて 1808 人となる。国内のワクチン接種の 1 回目を終了した人が累計 8000 万人を超える。職域接種を含めると 8267 万人、全人口の 65.3%。
- 9/17：全国の重症者数が 1700 人を切って 1615 人となる。
- 9/18：全国の重症者数が 1600 人を切って 1559 人となる。
- 9/19：全国の重症者数が 1500 人を切って 1496 人となる。全国の新規感染者数が 4000 人を切り、3401 人となる。4000 人を切るのは 7/24 の 3574 人以来。
- 9/20：全国の新規感染者数が 3000 人を切り、2224 人となる。3000 人を切るのは 7/19 の 2328 人以来。
- 9/21：全国の新規感染者数が 2000 人を切り、1767 人となる。2000 人を切るのは 7/12 の 1504 人以来。
- 9/22：全国の重症者数が 1400 人を切って 1383 人となる。
- 9/23：全国の重症者数が 1300 人を切って 1273 人となる。
- 9/25：全国の重症者数が 1200 人を切って 1185 人となる。国内のワクチン接種の 2 回目を終了した人が累計 7000 万人を超える。
- 9/26：秋田県の新規感染者が 0 人となり、7/19 以来の 0 人。
- 9/28：全国の重症者数が 1100 人を切って 1062 人となる。

【秋田大学】

- 9/27：後期授業開始。感染状況を勘案して 2 週間は遠隔のみとし、対面がやむを得ない実習等のみを認める。

【学部・研究科】

- 9/15：編入学試験を実施。
- 9/26：教育学研究科入学試験を実施。

発行 秋田大学教育文化学部／教育学研究科

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町 1-1 TEL 018-889-2509 FAX 018-833-3049

教育文化学部・教育学研究科HP <http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/>

学部研究科通信「みなおと」バックナンバー⇒http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/guide/gu_magazin.html

教職大学院通信「暁鐘の音(かねのね)」⇒http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/graduate/graduate_magazin.html

* 誌名「みなおと」の由来である秋田県女子師範学校校歌(1910年制作)を聴くことができます。

http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/guide/gu_symbol.html をご覧下さい。